

Information of Kagamifuchi

2025. 5. 12

新潟市立鏡淵小学校

5月1日 全校朝会 校長講話より

「心の成長」につながるスポフェスに

今日から5月です。4月は、新しい担任の先生や友達との出会い、新しい勉強のスタート、新しい「にこ森班（縦割りグループ）」メンバーでの活動など、いろいろなことがありましたね。私は、4月の皆さんの姿を見ていて、感心したことがたくさんありました。

（児童玄関の靴入れの写真、きちんと掛けられた雑巾の写真、子どもが考えた「あいさつのめあて」の写真などを提示）

学校に来たときや帰るとき、自分の靴をきちんと入れている人がとても多いです。廊下に干してある雑巾など掃除の道具も、きっと6年生の人たちが見てくれているのでしょうね。きちんと片付けられています。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」の気持ちのよいあいさつを、自分からしてくれる人も多いです。

それぞれの教室には、一人一人のめあてや、クラスのめあて（学級目標）が貼ってありますね。これからも、めあてに向かって、みんなでがんばっていきましょう。



さて、今月末には、皆さんが大好きな芝生のグラウンドで、スポーツフェスティバルが行われます。学校の大きな行事の一つであるスポーツフェスティバル。先生たちは、当日までの練習を通して、「皆さんにこんなふうにがんばってほしい、こんな気持ちをもってほしい」と思いながら、いろいろな相談や準備をしています。

最後までがんばって 勝てた

あきらめずに やって よかった
うれしかった 次も勝ちたいな



いっしょに 走ってくれて、
きょうそうしてくれて
応えんしてくれて
ありがとう

50m走や80m走、団体競技、それぞれ勝ち負けはあります。でも、「やった！勝った！嬉しいな！」「あー、負けた…残念」だけで終わったら、せっかくのスポフェスなのにもったいないですね。皆さんには、勝ち負けだけでなく、「緊張したけど、最後まで一生懸命にやったぞ」「自分の力を出し切れたぞ」といった自分のがんばりにも、しっかり目を向けてほしいと思います。

一緒に競い合う友達がいなかったら、最後まで全速力で走り切ることは難しいでしょう。

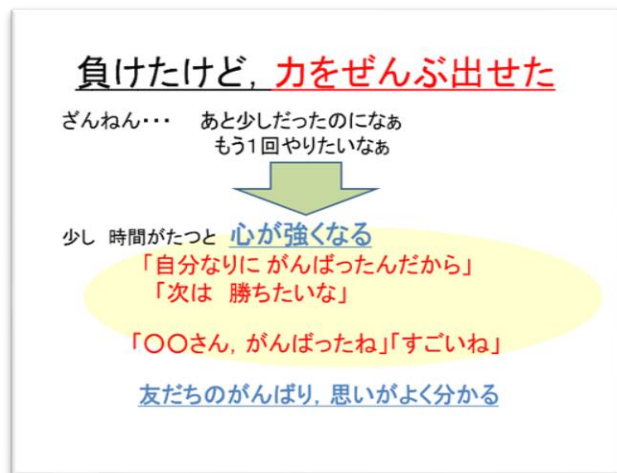
「がんばれー！」という応援がなかったら、「最後のひとがんばり」の力はいらないでしょう。

「がんばったね、すごいね」「よかったよ」といった言葉掛けがあると、「次も、最後までがんばろう!」という気持ちになりますよね。ぜひ、自分の力を引き出し、気持ちを高めてくれる友達への「ありがとう」の気持ちをもってほしいと思います。

精いっぱいを出しても、負けてしまうことはあります。競技のときのライバルになる友達も「最後までがんばるぞ」という強い気持ちで臨んでくるからです。

勝てなかったときは、がっかりし、悔しい気持ちになるかもしれません。そんなときこそ、「でも、最後までやり切ったぞ」と自分をほめてあげることが大切です。そう思えるようになると、心が強くなります。友達のがんばり、友達の思いもよく分かるようになります。

勝っても負けても、「がんばったぞ」「ありがとう」の思いをもてる、そして、自分もみんなも心が成長できる、そんなスポフェスになると嬉しいです。



ゴールデンウィーク後半のお休みが終わった後、スポフェスまでの練習や準備は20日間です。来週からは、種目の練習や応援の練習が本格的に始まってきますね。

「運動する楽しさをいっぱい感じてほしい」「精いっぱい力で競技や応援をしてほしい」「一人一人の心の成長につなげてほしい」という思いや願いをもち、先生たちみんなが皆さんのがんばりを応援していきます。

